

てんま 天満の どらやん



作／かたおかしろう
演出／二世茂山千之丞
お囃子指導／藤舎呂浩
美術・衣裳／谷ひろし
(人形劇団京芸)



むかし むかし 大阪の
天満の町に住んどつた
のんきぼうずのとらやんが
まむし丼食べたいな
うなぎを一匹買ってきて
まな板の上にねかせて
キリでエイヤッ! とつきさした
と 思うたら
うなぎによろりとにげだした
「あつ こら まてえ
まってくれ うなぎどーん!」
とらやん とらやん どこいくねん
うなぎ追いかけどこいくねん
まちこえ川こえどこいくねん
とらやんの冒険旅行
はじまり はじまり

さあ とらやんといっしょに

大旅行!

「天満のとらやん」の見どころで、特徴的なのは「舞踊唄芝居」ということです。まさに作者独特の奔放な発想から創り出されたユニークな形式でしょう。ポンコ、ポンコとのんびりとした木魚のリズムののり、出語り太夫がチヨボクレ節を唄い出します。バックではいろいろな和楽器を使ったお囃子が彩ってゆきます。このわくわくする幕開きは、子どもたちをまず引きつけます。

もう一つは、作者が描きこんだ主人公「とらやん」の庶民的な人柄でしょう。「とらやん」は実に生き生きとして、観客を魅了しています。

大阪の民話の中にあるバイタリテイと、庶民のエネルギーを持つ「天満のとらやん」大旅行話に、子どもたちは目を輝かせて、「とらやん」といっしょに、うなぎを追いかけて、大根をぬき、傘をはり、雷に、乙姫さんに会うことでしょうか。

コーロはエスペラント語で「心」、そしてエスペラントは「希望ある人」を意味します。全ての子どもと全ての大人がエスペラントになってくれるように、今日もコーロは……「とらやん」は、たくさんの子どもたち、大人たちに会うため、西に東に「大旅行」をします。

一般社団法人 劇団コーロ



演劇を通して生きる力を!

私たちは、「現代を的確に捉え、人々が未来を語る糧となるべき演劇を創造するとともに、演劇の普及・向上に努めることにより、我が国の演劇の発展に寄与すること」を目的とした一般社団法人劇団コーロを設立いたしました。